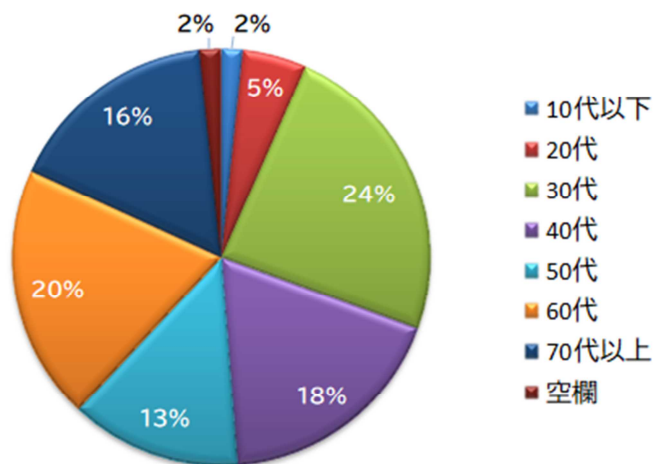


令和5年度食品ロスに関するアンケート実施結果

①アンケート概要

【実施期間】 令和5年10月23日（月）～11月4日（土）

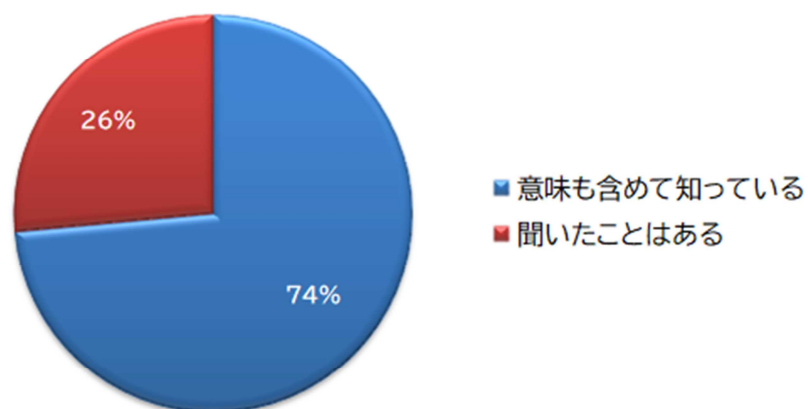
【回答者数】 121人



②アンケート結果

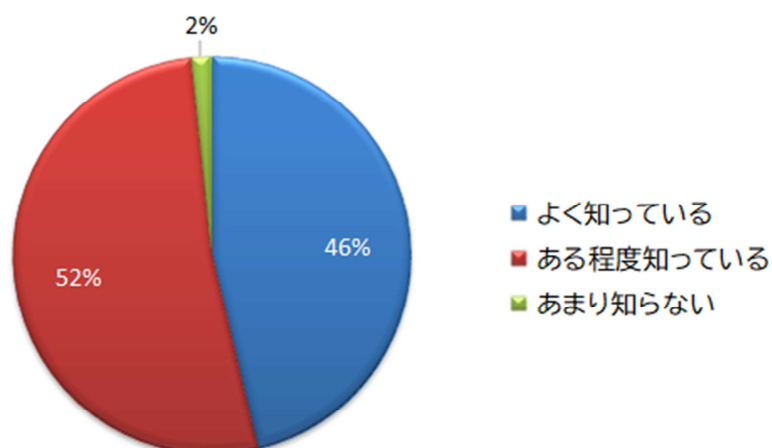
【あなたは、「食品ロス」という言葉をご存じですか】

100%が聞いたことがあり、74%は意味も含め知っているという結果でした。



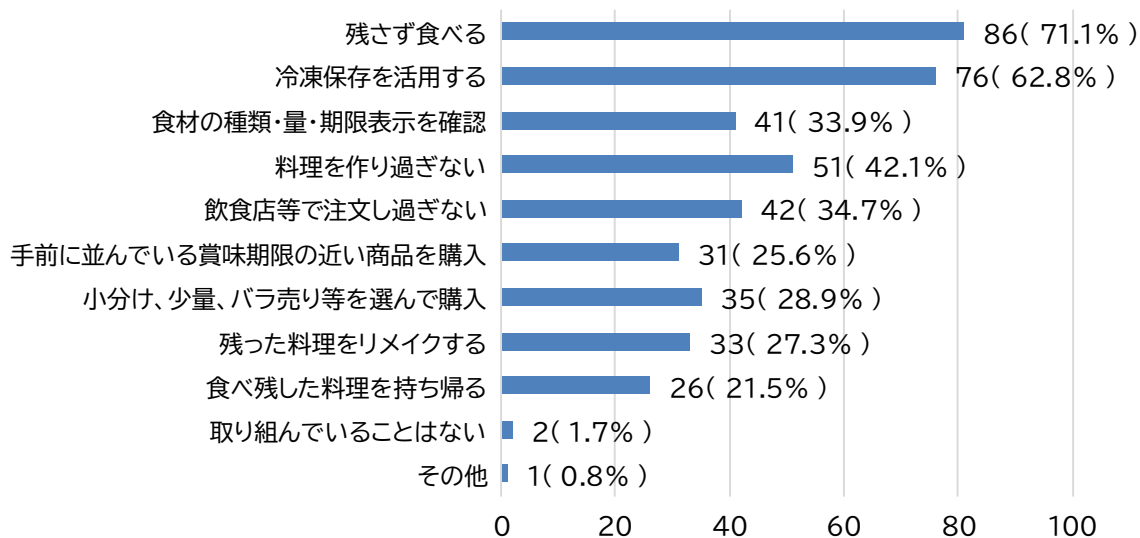
【あなたは、「食品ロス」が社会問題となっていることをご存じですか】

「よく知っている」と「ある程度知っている」をあわせると約98%でした。



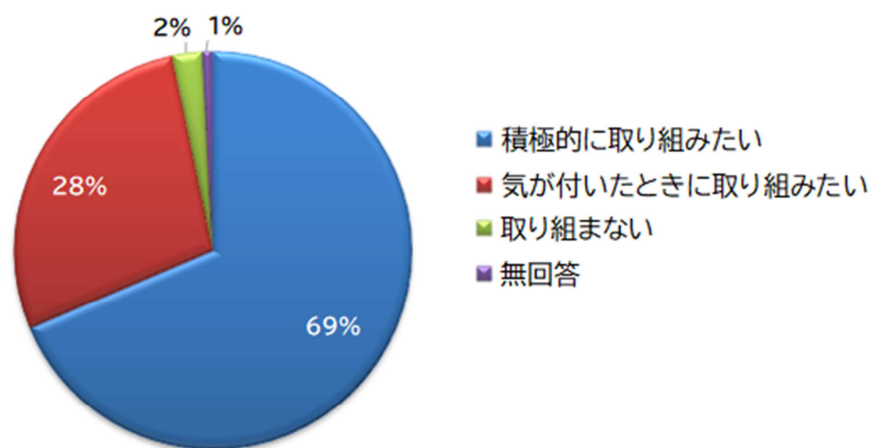
【あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか（複数回答可）】

「残さず食べる」、「賞味期限を過ぎてもすぐに捨てずに、自分で食べられるか判断する」、「冷凍保存を活用する」など家庭での取り組みの回答が多く「飲食店等で注文し過ぎない」、「手前の商品を購入」、「小分け・少量・バラ売り等を選んで購入」、「食べ残した料理を持ち帰る」など、外食や購買活動での取り組みは少ないという結果でした。



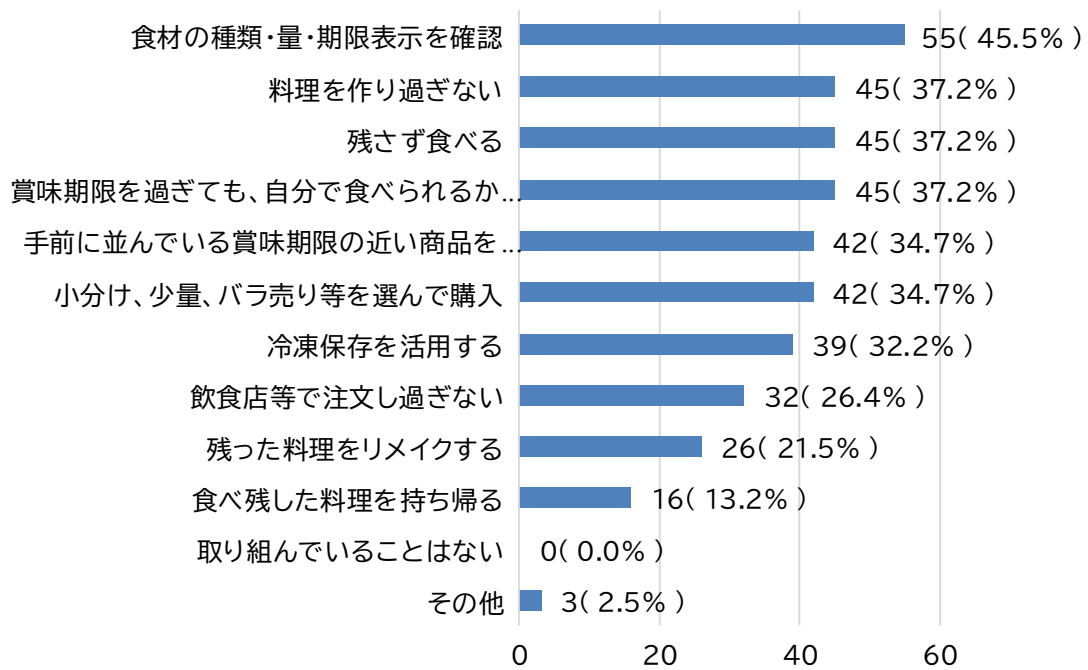
【食品ロスを減らすために、今後どのように取り組もうと思いますか】

「積極的に取り組みたい」と、「気がついたときに取り組みたい」をあわせ約97%が、取り組みたいと考えているという結果でした。



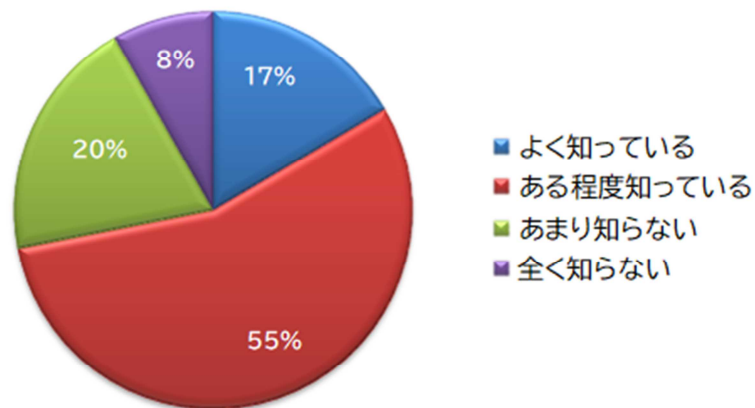
【「積極的に取り組みたい」、「気がついたときに取り組みたい」と回答した方にお尋ねします。今後取り組もうと思う内容を選び、番号を記入ください（複数回答可）】

「食材の種類・量・期限表示を確認」や「料理を作りすぎない」、「残さず食べる」、「賞味期限を過ぎても、自分で耐えられるか判断」など、家庭での取り組みが比較的多い結果でした。



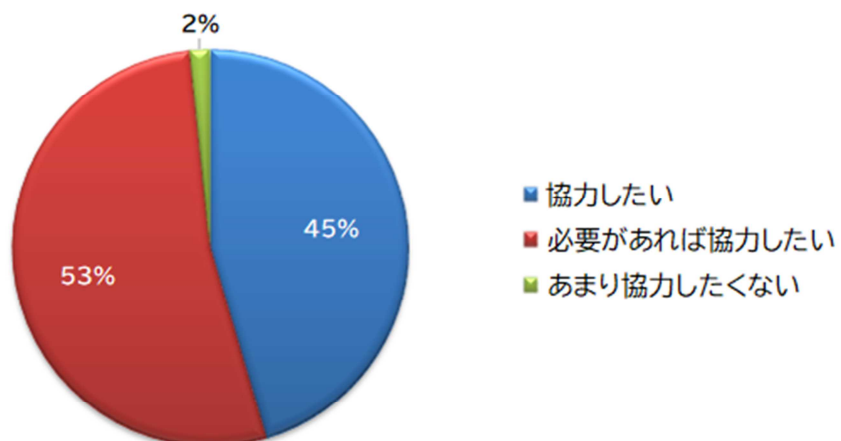
【あなたは、「フードドライブ」活動を知っていますか】

「ある程度知っている」をあわせると、「知っている」が約72%でした。



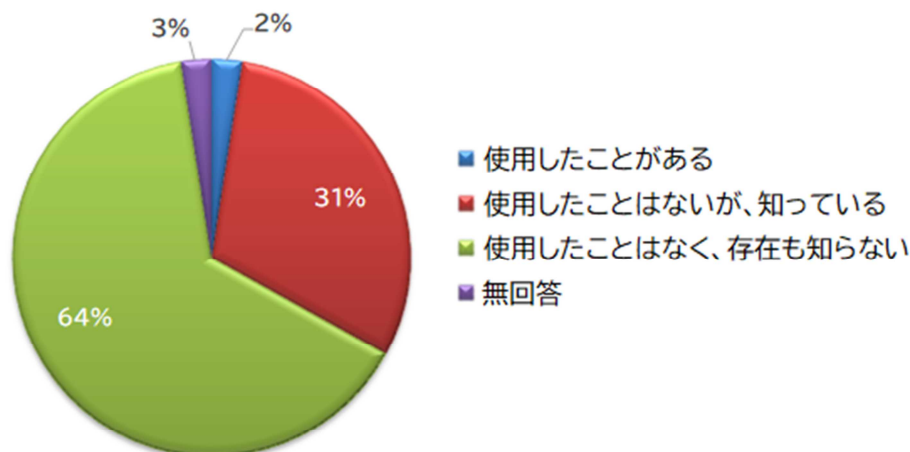
【今後、「フードドライブ」活動に協力したいと思いますか】

「必要があれば」をあわせると「協力したい」が約98%でした。



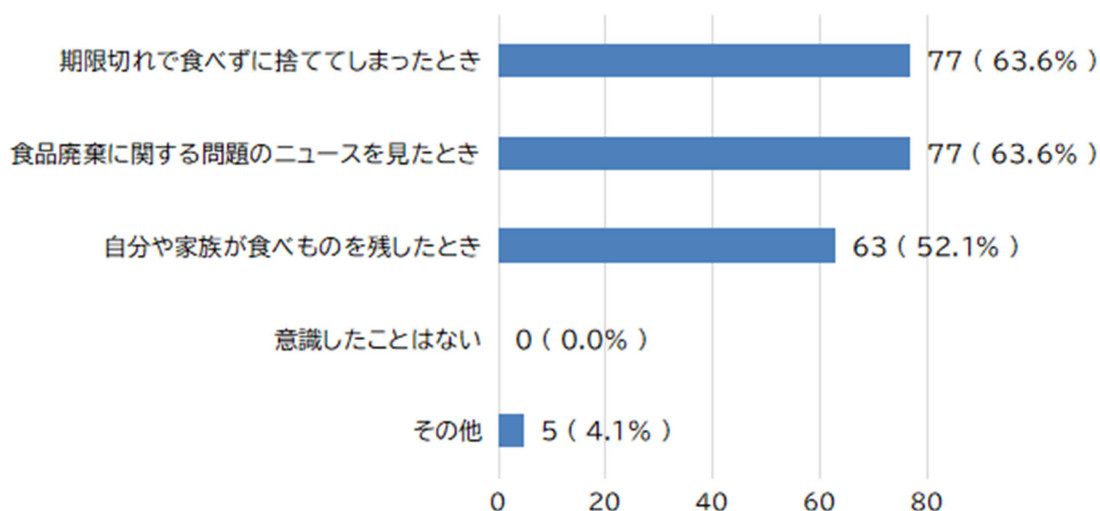
【あなたは食品ロス削減に関するアプリ等を使用したことがありますか】

「使用したことはなく、存在も知らない」が約64%でした。



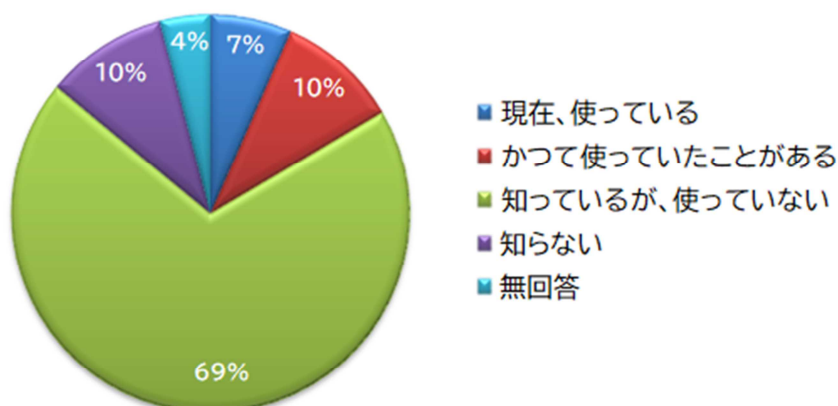
【あなたは食生活の中で「もったいない」を意識したことはありますか（複数回答可）】

「期限切れで食べずに捨ててしまったとき」と「食品廃棄に関する問題のニュースを見たとき」に最も「もったいない」を意識したとの結果でした。



【「電動生ごみ処理機」や「コンポスト」についてお聞かせください】

約79%が使ったことがなく、その中で「知らない」も10%でした。



【電動生ごみ処理機やコンポストは、「ごみの減量」に一定の効果があります。あなたは使ってみたいと思いますか】

「何らかの補助制度があれば」を含めて、「使ってみたい」が約77%でした。

